

令和3年度 第10回日本脊椎脊髄病学会 安全医療推進委員会 議事録

2021.12.01 (水) 18:30-19:00

場所：オンライン会議（会議主催地：名古屋大学医学部附属病院 会議室）

出席委員： 高相（担当理事） 今釜（委員長） 相澤 大谷 奥田
金村 川口 小西 酒井 須田 手束 中西
西田 町野（書記） 宮腰 村上 大和 湯川（敬称略）
欠席委員： なし

議事

1. 報告事項

(ア) 日本脊椎脊髄病学会理事会（2021年11月）：高相先生

高相担当理事から理事会報告がされ、下記内容を確認した。

1. 厚生労働省から通達された医療機関でのプリオン対策内容について、酒井先生を中心に JOA 安全医療推進委員会との話し合いを進めて頂く。
2. 来年の JSSR 学会において、JSSR 学会主導研究が 8 演題登録され、そのうち 2 演題が本委員会からの登録であった。

(イ) 貸出器械（Loan Instruments）使用患者が後日プリオン病と判明した事例報告（日本整形外科学会より）：酒井先生（JOA 安全医療推進委員会アドバイザー）

酒井先生から下記報告がされた。

1. 11月9日の JOA 安全医療推進委員会でプリオン病感染予防の現状について発表を行った。
2. JOA 安全医療推進委員会内にワーキンググループ(WG)を設け、プリオン病感染予防ガイドラインに整形外科医として参加された川崎市立多摩病院副院長松下和彦先生に参入頂くことになった。
3. 12月14日、松下和彦先生と WG で話し合いを行う予定。

2. 検討・報告事項

(ア) 脊椎脊髄手術における周術期抗血栓薬使用の安全性に関する研究：
酒井先生、手束先生

手束先生から研究進捗について下記報告がされた。

1. 来年の JSSR 学会発表へ向け、研究内容の抄録を登録した。

2. 今後 JSSR 学会発表の前にスライド内容などを本委員会で確認する。

酒井先生から下記報告がされた。

1. 論文の投稿先に関しては Spine Surgery and Related Research (SSRR)などを検討する。

(イ) 脊椎手術における部位確認に関する研究：川口先生

川口先生から研究進捗について下記報告がされた。

1. 来年の JSSR 学会発表に向け、アンケート調査研究についての抄録を登録した。
2. 今後論文文化に向けて、発表内容・文言について本委員会で確認する。
3. SSRR を論文の投稿先として研究を進める。

(ウ) JSSR 統合型 DB 進捗状況：金村先生

金村先生から JSSR 統合型 DB 進捗について下記報告がされた。

1. 11月1日に本登録が開始し、現在 3300 例が登録されている。
2. DB に関して 200 件の問い合わせがあり、12 月から合併症調査を行う。
3. 2022 年 4 月以降、通年登録を開始することが JSSR 理事会で承認された。
4. DB 登録について、引き続き email や NL を通じて JSSR 会員へアナウンスする。

3. 次回、次々回委員会開催日

- ・約 1 ヶ月後の JSSR 理事会開催後に予定（1 時間の見込み）
- ・理事会が最終月曜日のため、月によっては月初の水曜日に予定
- ・【次回】 2022.01.26（水） 18 時 30 分～
- ・【次々回】 2022.03.02（水） 18 時 30 分～